

STEAM ラボを活用したがん教育の推進



土本 昌幸 議員
(公明党)



問 がん教育の現状についてお聞きします。学校におけるがん教育の推進は、新学習要領に明記され、中学では昨年度から全面実施されています。現状について答弁を求めます。

答 がん教育は、小学校では6年生の保健の授業で、教科書の内容を中心に生活習慣病との関連で、がんをまずは知るという学習をしています。中学校では2年生の保健科において、がんの予防という授業があり、がんという疾病について知り、がんの要因と予防、がんの早期発見と回復につ

いて学びます。

これらの学習を基にして中学3年生では、市の健康課の事業であるピロリ菌検査及び除菌治療を行っています。生徒自身はもとより学んだことを家庭で会話することによって、家族の皆さんも関心を持っていただく機会にもなっていると聞いています。

問 STEAM ラボの導入が始まるということですので、がん教育に対する活用が有効ではないかと考えます。全生徒にタブレットも貸与していますので、タブレットを利用して保護者と一緒に進めていくのが効果的ではないかと考えます。見解を求めます。

答 STEAM ラボを活用すれば他校の児童・生徒と共に多様な意見を交わしながら学習をしたり、医師に病院からオンラインでゲストティーチャーとして指導し

ていただくことができます。また、公民館にも STEAM ラボは設置されますので、地域人材や公民館活動との連携による学習を行った、より幅広く質の高い学びを提供することができるものと考えています。

要望 国はがん検診の受診率目標を50%から60%に引き上げることを検討されています。早期発見、早期治療が非常に効果がある取組であることから、子供を通して家族全体でがんについて学ぶことができるよう、がん教育を推進していただきたい。

■その他の質問項目

- ・ヤングケアラー対策について
- ・出産・子育て事業について
- ・運動部活動の地域移行・連携について
- ・情報管理について

希望あるまちづくりのために ～国道372号バイパス新設工事について～



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともて育つ会)



問 工事計画について。

答 三口交差点を起点として善防交差点を経由し、西笠原の大池南東の農道を拡幅して東へ延び、北条鉄道を越えて、さらに下里川の橋を架け替えて拡幅し、県道玉野倉谷線と市道鶉野飛行場線の十字路へ接続する全長約1,700メートルの高規格道路です。

このバイパスの整備により、三口、善防及び法華口交差点の渋滞緩和、さらには加西中野交差点の渋滞緩和が見込まれます。また、市道鶉野飛行場線との接続による

sora かさいなど鶉野地区へのアクセス道路となり、県道三木粟粟線を交差して上宮木玉野線を越え、市道玉丘常吉線と交差して西へ曲がれば北条方面、東へ曲がれば工業団地を経由して現在の国道372号につなぐ主要幹線のネットワークが構築されます。

三口から善防交差点の拡幅区間は、右折、左折レーンの増設により道路幅員は約2倍になる予定で、主に南側への拡幅が計画されています。

問 工事の進捗状況について。

答 令和4年度は北条鉄道と下里川の橋梁の設計や境界確定の作業を行い、道路用地を確定する用地測量が予定されています。現在、関係する三口、西笠原、東笠原、上野田、東野田町の5町

で役員協議、住民説明会を順次開催し、地権者説明、交渉を行っていきます。

令和5年度は用地買収に入り、順調に進めば令和6年度から東側の県道玉野倉谷線の交差点から、工事着手が予定されています。

問 周辺地域の活性化について。

答 令和5年3月の改訂を目指す都市計画マスタープランでは、法華口駅周辺と国道沿道の集落を土地活用促進地域と位置づけ、住宅地や商業施設などを誘導し、法華口駅を交通拠点とする計画です。利便性向上により若い世代、子育て世代の移住先選択地域として、今後も地域と行政、民間事業者が協働し、良好で活気あるまちづくりを推進します。